

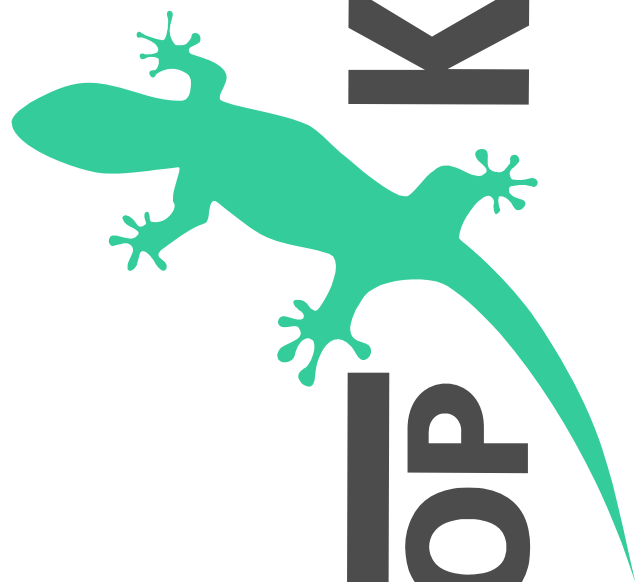
# Top Stop



体重差をなくし、  
トップロープでの  
ビレイを両手で安全に  
行うことを可能にした！

ビレイに慣れていない方の補助に！  
「人を支える・人の安全を確保する」  
という教育的な目的のために。

**TopStop<sup>®</sup> rope brake**



# KLETTERN ON TOP



写真の TOPSTOP の取り付けにはクライミングウォールアタッチメントを使用しています。

クライマーの体重の 1/10 が保持できれば両手だけでビレイ可能です。



## TOP STOP

利用トップロープの図

両手でビレイをします。注意;手を離すと、クライマーはグランドフォール(自然落下)します。



# TOPSTOP利用法

使用ロープの直径は 10.5mm以上を推奨。

ビレイヤー側には通常クライマーの体重の約 1/10 が伝わります。クライマー体重の約 1/10 を両手でロープにより保持することが出来る方なら、ビレイが可能です。

例) 80kgの場合、約 8kgの保持ができればビレイ可能となります。

ビレイヤーは必要に応じてビレイデバイスの併用が可能です。



お父さんのビレイを子供が行うことも可能になります。

下はカラビナ用アタッチメント。



**ご注意！ TopStop という名前ですが、オートブレーキ、オートビレイの機能はついておりません！**

手を離すと、**グランドフォール**します。必ず、ビレイヤー側のロープをしっかりと両手で握ってください。

クライマー側、ビレイヤー側の向きがあります。逆側(クライマー側)のロープを握ってビレイした場合、重量の軽減はありません。正しい向きのロープを握って下さい。

## TopStop® Rope brake

### TOP STOPはトップロープ用の支点到ビレイデバイスの機能を追加した新しい発想の支点&ビレイデバイス



### **TopStop® rope brake: SIMPLER – SAFER – BETTER**

ドイツ TÜV GS マーク取得済み 特許取得済み PAT

ON TOP KLETTERN 社は ISO9001 認証済みです。

- ドイツでは、教育施設を中心に 700 を超える納入実績 -



### TOP STOPはクライマーの安全を高める 新しい発想のビレイデバイス

TOP STOP はトップロープ用の支点到ビレイデバイスの機能を追加した新しい発想の支点でありビレイデバイスです。TOP STOP を利用することにより、ロープを間違えてビレイデバイスセットしたり、誤ったビレイによる危険を大きく軽減することが可能です。また初心者によるビレイ練習時の安全性を大幅に高めることが可能です。

特に、初心者がビレイテクニックをマスターしていない状況や経験の浅い者がビレイしなくてはならない状況の安全性を大幅に改善することが可能です。

**開発のきっかけは？**；ドイツでは、教育にクライミングが取り入れられています。TOP STOP はクライミング経験があまりない教師による指導時の安全性を高めるために開発されました。また、生徒に、ビレイ(クライマーの確保を行う)をさせることで、他人の安全を確保したり、他人を支えることの重要性や信頼することの大切さを教えるために開発されました。

### クライマーの体重の約 1/10 を保持することが出来れば トップロープでのビレイが可能です

TOP STOP を利用した場合、テンション(確保)時にビレイヤー側には、クライマーの体重の約 1/10 が伝わります。これは体重 70kg のクライマーの場合、ビレイヤー側にはその 1/10、約7kgが伝わり、その約 7kgを保持できる方なら特別なビレイ技術無しでトップロープのビレイを行うことが可能になることを意味します。

### ロープを両手で持てば、クライマーの墜落を止めることが可能です。

クライマーが落ちた場合には、ロープを両手で保持すればよいと言う、簡単な操作でビレイが可能です。TopStop.を利用すれば、ビレイミスの危険を軽減することが可能です。従来のビレイデバイスとハーネス、そしてビレイテクニックのいずれも不要です。

### 仕組みは？ 特殊なプーリーの組合せで出来ています。

- **登るときには**；TopStop 利用時、クライマーが登る際には、プーリーにより通常の支点よりもはるかにスムーズにロープは動きます。クライマーが早く登る際に起こりがちなビレイの遅れも起こりにくくなっています。
- **制動時には**；クライマーがロープに体重を掛けると、TopStop 内の特殊なプーリーがロックし、ビレイヤー側にはクライマーの体重の約 1/10 が伝わります。これによりクライミング時のクライマーとビレイヤーの体重差を気にする必要は無くなります。
- **手を離すとどうなるの？** 残念ですが、通常のビレイと同様にクライマーはグランドフォールしてしまいます。

### 経済的側面からのアドバンテージ

- ロープのからまりやキンクが低減します。結果ロープの寿命が従来の 2-3 倍にのびます。
- これまでクライミングと関わりのなかった層の可能性
- 少ないインストラクターでのイベントや講習の実施の可能性

## TOP STOPの利点と、従来のビレイとの比較すると……

- ビレイの安全性に関する利点
- ロープのスムーズな動き
- トップロープクライミングのシステムを多人数にわかり易く教えることができます
- 従来のビレイに比較して下記のような危険から開放されることが可能です。
  - ビレイデバイスへの誤ったロープのセット
  - ビレイヤーのハーネスやビレイデバイス(カラビナ)のセットミス
  - 従来のビレイデバイス使用時におこるロープの繰り出し及び、手繰り際にロープからつい手を離してしまうという危険性の低減
- ビレイの練習をより安全に行うことが可能です。
  - ダブルビレイも可能です。従来型のビレイデバイスの併用も可能です。

## ドイツ での 教育学的見地からのアドバンテージ

- 子供たちが成長の非常に早い段階(たとえばドイツでは8歳～)において、この TopStop でビレイを経験することを通じて、責任や集中力・信頼といった重要な社会性を身につけることが可能です。
- 信頼と責任を体験することが可能になります。
- 学校などの教育機関などのみならず、刑務所の受刑者向け教育プログラムなどで、他人の安全を確保したり支えるための 社会教育の一環としての利用実績もあります。

## さらに……

- 太った人がもっている、「誰が自分を確保してくれるのか？」という心配を無くすことが可能です。
- 新しいパートナーシップの可能性
  - 子供が親をビレイする(ダブルビレイを推奨します)
  - 体重差に関係なくパートナーとなれます。
  - 車椅子に乗っている方もビレイヤーとなることが可能です。
- ビレイに慣れていない人々もこのシンプルなデバイスを用いることで、スポーツクライミングへの関わりをより簡単にします。
- TopStop がビレイミスの可能性を低減し、ビレイをより単純で、より安全にすることにより、初心者指導、学校クラスなどのような、グループイベントにおけるインストラクターの数を従来より削減することも可能になります。



## クライミングジム;

初心者用の体験ルートなどで、ハーネスを着けることなくビレイが可能です。

初心者同士によるビレイでの万が一の事故の可能性が軽減されます。

クライミング体験イベントの受け入れが容易になり、ジムスタッフの負担が減ります。

## 導入済クライミングジムなど

- ランナウト 東京都国分寺市 <http://www.runout.info/>
  - 家族連れや初心者向けのトップロープ用支点として導入。
  - ビレイの補助具 として「ビレイサポーター」という名称で利用。
- ウォールストリート 群馬県前橋市 <http://www.h2.dion.ne.jp/~wallst/> ↓はウォールストリートビジターエリア
  - ビジターエリアのトップロープ用支点として 3 台 導入
- NPO 法人 アラジンクライミング <http://www7a.biglobe.ne.jp/~aladdinclimbing/>
  - クライミングを普及を目的とする NPO
  - 講習会や体験会などで使用
  - 特に体重の重い 障害者などの ビレイの際に 活躍



## クライミングイベント;

クライマー以外のスタッフによるビレイでも運用が容易になります。

## クライミングウォール(公共など);

参加者に登る体験だけでなく、ビレイを通じて、人を支える、信頼することを体験していただけるようになります。

各種イベントの実施が容易になります。

クライミングウォールの稼働率を上げることが可能になります。

熟練したクライマー以外のスタッフによる運用が容易になります。

**NEW ! Rope Brake 'TopStop® Compact' 室内用モデル** 2008 モデルはオレンジになります。

10m以下の壁専用設計

ドイツ TUV GS マーク取得済み 特許取得済み PAT .P

ON TOP KLETTERN 社は ISO9001 認証済み

特に学校や初心者向けの講習のためによりシンプルに改良されたモデルです。

クライマーの体重をビレーヤー側に約 1/10 に軽減する機能があります。

ブレーキの強さ：変更不可 推奨壁の高さ：10mまでに適しています



Art.- no.: **31 00 01**

Price: **¥120,000 -**

**Rope Brake 'TopStop® Adjust Indoor' 室内用モデル**

初心者向けの講習や、商業ジムでの利用のためのモデル。ブレーキを 3 段階で調整可能です。

ブレーキの強さ：3 段階 推奨壁の高さ：10-20m

Art.- no.: **31 00 00**

Price: **¥120,000 -**



**Rope Brake 'TopStop® Adjust Outdoor' 屋外用モデル**

屋外用としてプーリー等をステンレスにしたモデル。

Art.- no.: **32 00 00**

Price: **¥140,000 -**



**Installation kit ,Wall' ウォール用アタッチメント**

既設のクライミングウォールに設置する場合のアタッチメント。

Art.- no.: **30 00 07**

Price: **¥10,000 -**



**Installation kit 'Ceiling' 天井アタッチ**

天井用アタッチメント

コンクリート天井または鉄骨に設置する場合

Art.- no.: **30 00 02**

Price: **¥10,000 -**



**Installation kit ,Vario' カラビナ用アタッチメント**

通常のカラビナではなく、マイロンでの連結をおすすめします。

Art.- no.: **30 00 04**

Price: **¥7,000 -**



**Signal Pennant TopStop®**

Art.- no.: **30 00 05** Price: **¥900 -**

価格には設置料は含まれておりません。

安全のために 2 年に 1 度のメンテナンスが必要です。  
基本メンテナンス料(部品代別)は 8000 円となります。

GSマークのGSは、ドイツ語のGeprüfte Sicherheit(Approved Safety)の略で、“安全性確認済”を意味しています。

GS マークは、ドイツの機器安全法にもとづいて検査され、安全性が認証された製品に付けられるマークです。GS 認証は認証機関として正式に認定をうけた機関のみが行うことができ、その認証機関に対しては、信頼性や独立性が要求されます。型式認証(type approved)マークである GS マークの認証の際には、製造工場の品質管理体制も問われます。GS マーク認証を受けた製品の製造工場の検査は、ドイツ機器安全法により認証によって異なりますが、1 年もしくは 2 年に一度実施することが義務付けられており、これを工場検査と呼びます。工場検査では、認証を受けた製品が量産過程においても忠実に再現して生産されているかが検査され、具体的には製品の品質管理工程、製造環境、試験・測定機器の保守などが検査の対象となります。

GS マークは法的に義務づけられたマークではありませんが、製品の安全性を証明する手段として、非常に重要な意味を持っています。製品の多様化が進む一方で、その安全性を疑問視する声も多くあります。製品が原因で事故が発生した場合、ドイツやヨーロッパの厳しいPL法(製造物責任法)により、製造者とその責任を問われることになります。現在、市場は製品の多様化とともにめまぐるしく変化しており、コストダウンやデザイン重視、機能重視が、時として思わぬ事故を招くことがあります。このため、ドイツなどヨーロッパの消費者にとって、GS マークは製品の購入を決定する判断材料のひとつとなっています。

法律で義務づけられている CE マークだけでなく、製品に GS マークをつけるということは、それだけで製品に十分な価値を与えることになります。

### なぜ、GSマークはそんなにポピュラーなのでしょう？

CE、CB、GS という用語はしばしば混同されて使われ、場合によっては混乱を招ねくことがあります。ここで各用語について簡単に説明しましょう。

GS マークは任意の認証マークであり、信頼ある認証機関による製品の安全検査と、継続的な生産管理が行われていることを証明するマークです。GS マークは、消費者だけでなく、製造業者、輸入業者、卸売業者、商社、保険業者などからの強い要求によって誕生したマークです。かつてこれらの業者は、ドイツ機器安全法に従って製品の安全性を検証する必要がありましたが、実際には有効な評価の手段がなく、輸入品など、膨大な数の製品の検証に対応できませんでした。その一方で、PL 法の制定や消費者からの安全性の要求に応えるため、製品安全評価のためのなんらかの方法を見出す必要がありました。こういった背景のもと誕生したのが GS マークです。GS マークは、製造業者、輸入業者、保険業者、消費者それぞれの要求を十分に満足させることができ、大変意味のあるマークとしてドイツ国内に深く浸透していったのです。現在、GS マークはドイツだけでなく、世界中の国々で製品安全認証マークとして受け入れられています。

GS マークなどの任意の認証マークとは異なり、CE マーキングは法律により表示が義務づけられているマークです。CE マーキングは EU により、税関を通過するためのパスポートとして提案され、制定されました。つまり CE マーキングを表示している製品は、EU 圏内を自由に流通することができます。CE マーキングの要求として知られる欧州指令に該当する製品にはすべて CE マーキング表示の義務があり、他社製品との差別化を図るための市場戦略としては、CE マーキングは意味が薄いといえます。CE マーキングは、欧州指令に適合しているということを製造者が自己宣言することで、製品の法的責任者の所在を明らかにする、言わば管理上のシンボルなのです。

© TÜV Rheinland テュフ ラインランド ジャパン 社の WEB より抜粋

国内総代理店

有限会社 セブンエー

193-0832

東京都八王子市散田町 3-11-11 関谷ビル 105

Tel: 042-669-5330

Fax: 042-669-5331

e-Mail: [info@e7a.jp](mailto:info@e7a.jp)

web: [www.e7a.jp](http://www.e7a.jp)

## ON TOP Klettern

Gesellschaft für Freizeitsport mbH

Vorgebirgsstr. 5

D- 50389 Wesseling

- Germany -

Tel.: +49 - (0)2236 / 8905-80

Fax.: +49 - (0)2236 / 8905-81

e-Mail: [info@ontopklettern.de](mailto:info@ontopklettern.de)

Internet: [www.ontopklettern.de](http://www.ontopklettern.de)

お問い合わせは . . . . .

